Business 仕事の窓 Report

その3

沖縄の花き産業

沖縄における花き生産は、温暖な気象条件を背景として県外出荷を中心に順調に伸びてきました。最近は景気低迷の影響を受けて、やや伸び悩んでいるものの、小ギクと洋ランでは全国1位の生産を誇っています。

1 沖縄の花きの位置

全国的にガーデニングがブームとなっていますが、沖縄でも、ホームセンターやスーパーなどで花苗、鉢花、ハーブ類、花木、園芸資材等の売場が充実し、街なかでも花と緑が目につくようになってきました。

沖縄で本格的な花き生産が始まったのは、昭和五十年代頃からですが、冬春期の温暖な気候や生活に潤いと安らぎを求める気運の高まりを背景に、順調に伸びてきました。生産額で見ると、昭和五十年の六億円から平成十年には一四三億円と飛躍的に増加し、農業の分野では、さとうきびに次ぐ生産額となり、沖縄農業の先導的作物となっています。（図1）

また、全国四十七都道府県のなかでも、愛知県、静岡県、千葉県、福岡県等に続き生産額第十位で、我が国の花き生産の二翼を担う重要な産地となっています。（表1）

品目別には、小ギクと洋ラン切花が全国第二位、キク全体でも愛知県に次いで第二位を誇っています。

2 生産の特徴

沖縄の花き生産の特徴は、まず、キク中心であることです。生産の七割以上がキクで、うち六割以上が小ギク、以下アレカヤシやドラセナ類などの観葉切葉、デンファレを中心とした洋ランとなっています。（表2）

デンファレ

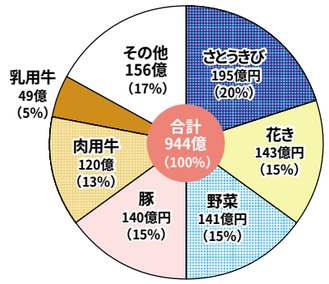
平成10年都道府県別花き粗生産額順位（表1）

単位：億円、%

順位	県名	粗生産額	割合
	全国計	4,801	100.0
1	愛知県	763	15.9
2	静岡県	260	5.4
3	千葉県	253	5.3
4	福岡県	236	4.9
5	長野県	218	4.5
6	埼玉県	214	4.5
7	鹿児島県	201	4.2
8	北海道	163	3.4
9	茨城県	157	3.3
10	沖縄県	143	3.0

資料：農林水産省「生産農業所得統計」

作物別農業粗生産額（平成10年）（図1）



資料：農林水産省「生産農業所得統計」

次に、栽培・出荷の時期が冬春期中心であることです。小ギクの場合、正月や春の彼岸などがある十二～四月で年間の約九割を出荷しています。この時期は、本土で露地栽培が困難であることから、沖縄産は本土市場の八～九割を占め、責任産地として安定供給が求められています。

それから、県外への出荷が多いことです。キクは九十九%、洋ランは八十八%、観葉切葉は八十七%、花き合計でも九十二%が県外出荷で、県内消費の割合が比較的高い鉢物類でも、六割以上が県外へ出荷されています。（同表）

また、市町村別の出荷額では、伊江村十八億九千万円、今帰仁村十七億七千万円、名護市十七億六千万円が

県産花きの県内での販売促進活動（パレット久茂地前で清明「シーミー」花をPR）

ベストスリー、以下具志川市、糸満市、読谷村、恩納村、本部町、沖縄市、石川市の順で、上位三市村はいずれも北部地域となっています。（表3）

3 流通・消費状況

花き卸売市場は、平成九年に浦添市の県中央卸売市場内に開設、卸売業者が二社入っています。「せり」は切花が週三回、鉢物が週二回開催されており、参加できるのは、仲卸業者五社と花店、スーパー、ホームセンターなどの買参人二五四人（社）で、これらの業者を通して消費者の手に渡ります。

また、花き小売り店は、約三百店舗ありますが、売上規模は他県に比べて零細であることから、景気の影響を受け易い体質となっています。

ちなみに、平成十年の総務庁家計調査によると、全国県庁所在地の一世帯当たり年間切花購入額は二一、二六八円ですが、那覇市は七、三五五円と全国平均の六割程度に過ぎず、消費拡大の余地はまだあると思われます。（表4）

4 今後の課題

キク中心という沖縄特有の生産体系に加え、最近では景気低迷による花き消費の減少や低価格の輸入物が増加していることから、今後は、生産面では、①沖縄での栽培に適した多様な花きの導入、②耐暑性のある品種の開発等による出荷期間の拡大、③温室等の施設化や機械化による品質向上と低コスト生産を図るとともに、流通・消費の面では、①離島県のハンディを克服するため輸送コストの低減、②市場や消費者の信頼を得るため予冷施設の整備等による高品質・鮮度保持輸送体系の確立、③観光産業との連携や花きイベントの開催による需要拡大を図るなど業界を挙げた取組が必要となっています。

リアトリス

ストレリチア

平成10年花き出荷額の状況（表2）

単位：百万円、%

区分	出荷額	出荷割合	うち県外	県外割合
切花類	16,791	90.8	16,096	95.9
キク	13,423	72.6	13,287	99.0
観葉切葉	1,291	7.0	1,125	87.1
洋ラン	821	4.4	725	88.3
リアトリス	294	1.6	254	86.4
ストレリチア	260	1.4	230	88.5
その他	702	3.8	475	67.7
鉢物類	1,328	7.2	854	64.3
球根類	17	0.1	14	82.4
花木類	67	0.4	0	0.0
花壇用苗物	280	1.5	131	46.8
芝類等	0	0.0	0	0.0
合計	18,483	100.0	17,095	92.5

資料：沖縄県

平成10年県庁所在地都市別1世帯当たり年間切花購入額（表4）

単位：円、%

順位	県名	都市名	切花購入額	平均との比率
	各都市平均		12,268	100.0
1	鹿児島県	鹿児島市	24,793	202.1
2	宮城県	仙台市	19,364	157.8
3	福島県	福島市	18,776	153.0
4	岩手県	盛岡市	17,843	145.4
5	鳥取県	鳥取市	17,400	141.8
・	・	・	・	・
・	・	・	・	・
・	・	・	・	・
44	埼玉県	浦和市	8,909	72.6
45	福井県	福井市	8,780	71.6
46	高知県	高知市	8,093	66.0
47	沖縄県	那覇市	7,355	60.0
48	愛媛県	松山市	7,016	57.2

資料：総務庁統計局「家計調査」

※福岡県のみ福岡市と北九州の2市調査のため48位まである。

平成10年市町村別出荷額（表3）

単位：百万円

順位	市町村名	出荷額計
1	伊江村	1,893
2	今帰仁村	1,772
3	名護市	1,756
4	具志川市	1,465
5	糸満市	1,311
6	読谷村	1,245
7	恩納村	1,114
8	本部町	1,096
9	沖縄市	976
10	石川市	871

資料：沖縄県

電照ギクの栽培風景

キク県外出荷の約7割を占める航空便への積込風景